

いんざいを駆ける風

東京五輪へ大きな一歩



世界陸上北京大会 事前キャンプ

世界各国のトップアスリートが軽やかに走り抜けました

熱い戦いが繰り広げられた世界陸上。女子 400m のアリソン・フェリックス選手や男子砲丸投げジョー・コバクス選手など、6 個の金メダルを獲得したアメリカチーム事前キャンプ地の 1 つは、わたしたちの印西市でした。

8 月 10 日から 26 日にかけてのアメリカチーム事前キャンプは、千葉県・成田市・佐倉市・印西市・順天堂大学で連携して誘致しました。市内では順天堂大学(平賀学園台)が練習場となり、交流イベントも開催され、世界とつながる貴重な機会となりました。今回の取り組みを生かし、市では 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致を引き続き進めます。閩秘書課オリンピック・パラリンピック推進室(☎内線 445・446)。

交流イベント

8 月 15 日に、順天堂大学で交流イベントが開催されました。オリンピックメダリストの高平慎士選手と競争などをした「かけっこ教室」には、市内の小学 6 年生 37 人が参加。ほかに、印西市・成田市・佐倉市内の中学校対抗リレー大会や、国内で事前キャンプ中のオーストラリア、ニュージーランドの選手たちが集結した、競技会も行われました。



国際仕様のトラックで手に汗握る接戦のリレー大会

参加者に聞きました

北川夏光さん(西の原小 6 年)

かけっこ教室では、今までやったことがないトレーニングと走り方をして、普段も外で遊んでいるのに筋肉痛になってしまいました。教わったことを学校の運動会でも生かして頑張りたいです。

競技会では私が知らない種目もあって驚いたし、選手をテレビと自分の目で見るのとは全然違いました。世界陸上には会場で見た選手がいっぱい出て、夢中で応援しました。



北川夏光さん(左)と妙子さん(右)

北川妙子さん(母)

子どもにいい経験をさせてもらいました。2020 年東京五輪でもこのような機会があり、子どもたちがボランティアなどで関わったら嬉しいです。

アルピニスト野口健氏講演

- 講演「富士山から日本を変える」
きれいな山からきれいな国へ。実体験で語る環境問題。
- 来場者とのトークセッション

受け付け
開始!

生活すると毎日発生する「ごみ」は、さまざまな問題を抱えています。市では、10 月の 3R 推進月間に市民のみなさんがごみ問題について考え、日ごろの生活を見つめ直すきっかけになるよう、野口健氏を招いて「印西市 3R 推進シンポジウム」を開催します。

PROFILE

2000 年からエベレストや富士山での清掃活動を始め、以後、全国の小中学生を主な対象にした「野口健・環境学校」を開校するなど、環境問題に積極的に取り組む。



写真提供：野口健事務所

入場無料 印西市 3R 推進シンポジウム

時 10 月 10 日(土)・午後 1 時 30 分～3 時 30 分(受け付け 12 時 30 分～)。
場 文化ホール(大森)。

☎▶ 第 1 部：ごみの分別講座(午後 1 時 30 分～1 時 50 分)。クリーンアドバイザー(印西市廃棄物減量等推進員)が、ごみの分別方法を解説。
▶ 第 2 部：野口健氏講演(午後 2 時～3 時)、トークセッション(3 時～3 時 30 分)。

☎市内在住の人(未就学児の入場不可)。

定 先着 500 人(全席自由席。空きがあれば当日受付可)。

☎市ホームページの申し込みフォーム、またはメールで下記まで。件名に「シンポジウム申込」、本文に来場希望者全員の住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記載して送信。

※メールまたは市ホームページを利用できない場合のみ電話で受け付け。

☎☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383・FAX 3r@city.inzai.lg.jp)。